

2017年12月20日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

総合資産管理サービス A.S.P. Neo3.0 の提供開始の件

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、「総合資産管理サービス A.S.P.」をバージョンアップした「総合資産管理サービス A.S.P. Neo3.0」（以下「ASP Neo3.0」）の提供を開始しました。

「総合資産管理サービス A.S.P.」とは、企業が保有する固定資産の管理において、最新の税制や会計制度に対応する減価償却計算機能と物件管理機能をインターネット経由で提供するクラウド型アプリケーションサービスです。SMFLでは、2004年からこのサービスを提供しており、2013年11月にはオプションとして、実査（実地現物確認）サービスの提供を開始し、これまでに1,400社を超える導入実績があります。

今般バージョンアップされた「ASP Neo3.0」では、固定資産毎の過去の変更履歴データを残すことで、減価償却費の過年度に遡っての再計算や履歴情報の確認が可能となります。また、高機能なソフトウェアやハードウェアを装備することで、従来サービスに比べてより高速なデータ処理や安定した稼働環境で提供できるようになった他、IFRSへの対応として、公正価値の仕訳処理や減損損失の戻入処理などの機能を強化しました。

また、オプションサービスとして、海外拠点の資産を現地通貨及び円換算で管理する機能や固定資産毎の画像や契約書・稟議書・仕様書などの書類の関連ファイルを資産データに紐づけて保管する機能が利用できます。

尚、旧バージョンの「総合資産管理サービス A.S.P.」を既に使用している企業では、データ移行を行うことで本サービスに切り替わります。

SMFLは、固定資産管理業務をサポートするサービスの提供を通して、企業の業務効率化とシステム投資コスト削減に貢献してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

広報 I R 推進室 五十嵐 TEL 03-5219-6334